



木更津高専だより

2024
97号
September



Contents

校長挨拶	1
新任副校長挨拶、転入教員紹介	2~3
新任教員紹介	4
退職教職員挨拶	5
学校行事(新入生歓迎会、新入生研修、STG講習会、体育祭)	6~7
高専体育大会結果報告(地区大会・全国大会)	8~9
新入留学生紹介、内地研究終了報告	10
お知らせ	11

国際交流に思う

校長 先村 律雄



本校は国際交流が盛んで、低学年で留学をする学生もいます。10代での海外体験は、将来の方向性や学業等により良い影響を与えるものと期待しています。体験学生から一度話を聞いてみたいものです。私は、留学経験はありませんが、海外赴任経験があるので、その話をしてみたいと思います。

民間企業にいたとき、アメリカ・オハイオ州コロンバスに赴任したことがあります。今から14年以上前です。設計開発オフィスなので全員エンジニアです。上司はギリシャ人、エンジニアは、アメリカ・インド・中国・英国人等で、日本人は私だけでした。ネイティブ以外の英語は、母国語の発音をベースにしているようで、お世辞にも流暢ではありませんでした。(自身もその一人です)元上司が、泡を飛ばしながら“Greek English”で話していたことを思い出します。ときどき冗談で“It’s all Greek to me”と言うと、更に“Greek English”が飛んできました。でも、また会ってみたいです。

開発拠点なので、開発状況確認・ユーザー対応等の会議がよく開かれました。オランダ・モスクワ・オーストラリア等からエンジニアがやってきます。問題を抱えスケジュール遅延を誰かがプレゼンすると、営業エンジニアと“せめぎあい”が始まります。新製品の遅れは業績に直結するので必死です。あるエンジニアが、開発システムの試験データのグラフを見せながらプレゼンしていたら、モスクワのエンジニアが“Systematic Errorが残っていないですか?”と質問しました。彼はグラフを見て、まだ取り除くべき問題があると直感、製品化はかなり先と予測したと思います。2-3ワードの英語の発言でしたが、彼のエンジニアとしての能力の深さを感じたと同時に、彼に興味を持ちました。エンジニアとしての基礎能力だけでなく、実務経験による肌感覚の養成、そして日頃の努力により、瞬時に核心を突くことができたのです。彼のようにになりたいものです。

学生のみなさんは講義中、この科目は将来必要なのか疑問に思うこともあるかもしれません。本校で学ぶ科目はどれも必要です。学生のみなさんが、このモスクワエンジニアのようになってほしいです。低学年で学ぶ数学や物理の教科書を何度も見返してみませんか。2年次から始まる数学の微分・積分は工学分野の基礎なので、理解してほしいです。可能であれば、卒業後も、教科書は身近なところに置きましょう。

学生のみなさん、さまざまな分野・国で、いろいろな人と交流してください。

教務主事 内田 洋彰（機械工学科 教授）

2024年4月から教務主事になりました。2018年4月から2020年3月に続いて2回目です。この間に、学校はコロナ対応で授業方法や学生との連絡方法が大きく変わり、特にTeamsを使った方法が増えました。2024年度はTeamsやWebClassを使って、授業資料の配布やレポートの提出を行います。また、今年度から進級規程が変わりますので、詳細は学生便覧で確認してください。

大学や高专では3つのポリシーがあります。そのうちディプロマポリシー（DP）とカリキュラムポリシー（CP）は昨年度改定され、新しいDPとCPIは2024年度入学生から適用されます。DPは、卒業時に身につけるべき内容です。必修科目を取ることによってDPを達成できるように設計されています。年度末には、WebClassでどのくらい達成できているかを確認できるように準備しています。WebClassは学習記録を振り返ることができるので、ポートフォリオとして利用し、4年生や5年生のインターンシップや就職活動に役立てることができます。

また、最近では、生成AIの利用によって労働環境や学習環境が急速に変化しています。卒業後に40年以上働くためには、どんな力を学生時代に身につけるべきかをよく考えて、学生生活を過ごしてください。



寮務主事 大橋 太郎（電子制御工学科 教授）

令和6年4月1日付けで、寮務主事となりました電子制御工学科所属の大橋太郎です。どうぞよろしくお願いします。

平成9年・10年に寮務主事補を経験しました。本校には無かった女子寮を建設するために、既に建設している幾つかの高专を視察して、当時の寮務主事・主事補、寮務委員の先生たちと一緒に、本校に合う女子寮はどんなものがよいか検討したのが懐かしく思います。その後、女子寮は無事に建設され、更に増築をして、現在は定員58名の1棟4階建てで運営されております。男子寮に関しては幾つかの増改築がおこなわれ、更に廊下やトイレの電気が自動的にON/OFFされる設備に変わりました。各部屋にエアコンが完備されて、居住環境はとてよくなったと思います。

令和5年度に、3階建ての国際寮が建設され、留学生は原則、国際寮での生活となりました。英語能力があり、自炊を含めたシェアルームを希望する4年生以上の日本人寮生は、国際寮に引越して生活を始めました。

令和6年度は約80名の新1年生を迎え入れスタートしました。寮内行事も通常に戻りつつあり、寮スポーツデーやBBQ大会を実施し、普段は見られない楽しい寮生の顔を見ることができました。後期は寮祭や餅つき大会が計画されており、ますます楽しい寮になっていくと思います。



● 新任副校長挨拶

総務担当副校長 湯谷 賢太郎（環境都市工学科 教授）

令和6年度より総務担当副校長に着任いたしました環境都市工学科の湯谷賢太郎です。本年度より総務担当副校長の所掌範囲が変更され、点検・評価委員会と男女共同参画推進室を担当することになりました。

点検・評価委員会では、外部評価への対応と同時に、本校独自の内部質保証システムの確立と推進が主要な業務となります。現在の高等専門学校では、常に教育研究活動等の改善・向上に努めるだけでなく、それを社会に発信して広く国民の理解と支持を得ることが求められています。今後本校では、令和7年度にJABEEの中間審査、令和8年度にKISの認定評価、令和9年度に機関別認証評価を控えており、外部評価は本校が社会に対して説明責任を果たす重要な機会です。そのような機会に際して、点検・評価委員会からは学内に様々なお願いをすることが多く、学内の理解を得ることが難しいことも予想されます。教職員全員で協力して同じ方向を向いて教育研究活動等の改善・向上に努めるべく、学内に向けて説明を尽くし、補佐の虻川和紀先生（環境都市工学科）はじめ委員の皆様と協力して、本校のために尽力してまいります。



● 転入教員紹介

環境都市工学科 嘱託准教授 三橋 修

高知高専から木更津高専に移ってきた私と木更津高専との関わりは15の冬、当校受験で合格しましたが入学しなかったことでしたが、巡りめぐって今年度当校に配属されて積年の夢が叶った思いです。

私の現在の研究テーマは、防災的景観に関する研究と、近現代の建造物における文化財の保全・保存・利活用に関する研究です。具体的研究対象としては、高知県と千葉県に建造された津波避難タワー、および茂原市に存在する掩体壕（えんたいごう）です。津波避難タワーは高知県に130棟弱あり、西日本一、一方千葉県に16棟の津波避難タワーが建造されています。掩体壕は戦時中、戦闘機の格納庫として建造されたもので、茂原市には全国一の10基が残存しています。私の研究の特徴は、実験室がなくても構わないことでまちが私の実験場です。

研究以外に関しては、私が副顧問になった野球部に触れます。私が木更津高専に配属されてから一番印象的なことは、第106回全国高等学校野球選手権千葉大会においてのわが野球部2回戦、延長10回タイブレーク3-4での惜敗です。またこの夏、期待したいことが同野球部の北海道苫小牧で開催される全国高等専門学校体育大会硬式野球競技においての優勝です。



● 新任教員紹介

人文学系 講師 田川 浩子

今年度より人文学系(体育科)に着任いたしました、田川浩子と申します。

陸上競技(円盤投)を専門としていました。私が円盤投を初めたきっかけは、顧問からの声かけに過ぎませんでしたが、打ち込む中で円盤投の虜となり、円盤投のために大学・大学院(修士)にも進学したほどです。しかし、その過程では、「毎日練習しかしていないのに、どうして記録が伸びないのか」と一筋縄ではいかないことばかりでした。そのような状況を打開できたのは、修士の時に取り組んだ「コツ」に関する研究でした。コツとは、運動を上手く実施するための動き方のポイントのことです。このコツを客観的データを活用しながら、確信あるものにできたことが記録向上への糸口となりました。その後は自身の経験を踏まえ、一生懸命練習に取り組むにも関わらず、なかなか上達しない人に着目して研究しています。

まさか、円盤投からここまで世界が広がるとは思ってもいませんでした。どこに自分の世界が広がる種が落ちているのかは本当に未知数です。様々な経験の中で、未来の原点となるものを探してほしいと思います。微力ですがその協力ができれば嬉しいです。また、私は体育教員ですが、不器用で何でもできるわけではありません。みなさんと一緒にできるようになるコツを探しながら、楽しく体を動かしたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。



基礎学系 准教授 柳下 聡介

2024年4月に基礎学系に着任しました。主に化学の授業を担当します。木更津高専に来る前は、大学や研究所で、アルツハイマー型認知症の基礎研究に従事していました。自身の研究を進める上で、化学の知識は当たり前のもので、基盤の一部になっていました。授業では、化学自体のことは勿論ですが、世の中の現象を「化学を使って」どうやって理解するのか、という点まで伝えたいと思っています。人類が積み上げてきた科学の知見の前では、教員、学生に区別はなく、対等です。一緒の目線で、共に「学び」を進めましょう。

さて、感染症やサプリメントによって健康が脅かされたかと思えば、地震や風水害等の災害も意識せざるを得ない状況が続いています。これらの諸問題をどう乗り越えるのか、今、我々の知恵が試されています。既存の枠組みに縛られていては限界があります。学生の皆さんには、各科目の基礎をしっかりと身につけた上で、科目という枠に縛られず、好きなように「学び」を進めてほしいと思います。それは「余裕」を持つことに繋がります。何かと余裕のない社会だからこそです。知恵と余裕とを得て、この時代と一緒に乗り越えていきましょう。



電気電子工学科 准教授 サマラトunga ワサンタ

皆様、はじめまして。令和6年1月より電気電子工学科に着任いたしました。

スリランカの高校卒業後国費留学生として中国に渡り、北京語言学院(現:北京語言大学)で1年間中国語を勉強し、杭州の浙江大学で4年間電気電子を学びました。その後、2年間国際インフラ整備プロジェクトにて現場通訳の仕事(中国語、英語、シンハラ語)をしました。1996年来日し、大学院で修士課程を修了しました。

その後は様々な業界で多様な仕事経験を積んで参りました。2010年に博士課程に入り、AIと心理学を融合した独自のアプローチで博士課程を修了しました。

ポスドクとして菊池製作所との共同研究を行い、その後、千葉大学名誉教授野波健蔵先生の指導の下で日本発ペイロード30kg有線給電型ドローンの飛行を成功させました。

その後、菊池製作所ものづくりメカトロ研究所の研究員としてメカトロニクス分野の先端研究開発実績に貢献しました。

電気電子は基盤として必要に応じて他の分野との融合に継続的にチャレンジしています。私は技術教育のレジリエント性の重視し、変化していく社会情勢の中でも活躍続けるグローバルな視点で課題に取り組むエンジニアの育成に取り込みたいと思います。ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



前校長 山崎 誠

縁あって校長を2年間担当し、高専教員生活40年の締めくくりとして木更津高専で充実した時間を過ごすことができました。教職員・学生の皆様にお礼を申し上げます。

在任中、教職員のご理解とご協力を得て、学校の運営体制の改革を進めることができました。また、国際交流活動の再開・発展、サイバーセキュリティ人材育成事業はじめ教育研究活動の活発化、教育環境の改善も進んだと思います。

木更津高専の強みとして、サイバーセキュリティ人材や高度情報専門人材の育成、再生エネルギー、防災、ロボット等の優れた研究や教育の実績があります。もちろん、国際交流活動も大きな特色です。何よりも学生が素直です。活躍の芽を植え付け、活躍の場を与えれば、房総半島、上総地域から世界に羽ばたく素晴らしい人材が育っていくと思います。

遠くからではありますが、木更津高専の益々のご発展を祈念しております。



電気電子工学科 嘱託教授 上原 正啓

1988年に電気系企業から本校に着任して以来、36年間勤務させていただきました。在職中は多くの方々に助けられ、何とか仕事を続けることができました。助けていただいた皆様には心から感謝申し上げます。

在職中の思い出は数々ありますが、着任早々、遠泳教室の用具係を仰せ付きり、校内を回って用具を集めたことが懐かしく思い出されます。授業や卒業研究などを通して、学生さんからいろいろなことを教えてもらいました。

授業は「電気磁気学」を担当しましたが、この科目は判ったようで、良く考えると判らなくなる不思議な科目です。退職後は、この「電気磁気学」を勉強し直すつもりです。最後に、皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



電子制御工学科 嘱託教授 鈴木 聡

修士課程修了後、東工大附属高校勤務を経て、1985年に木更津高専に赴任しました。設立3年目の電子制御工学科でお世話になり、あっという間に37年が経ち定年を迎えました。それから2年の再雇用期間が過ぎ、退職となりました。

退職前にいろいろなところで話したように、忍耐力のない私が長年勤められたのは、周囲の教職員ならびに学生のおかげです。退職に際しての挨拶は、皆様にご迷惑をかけたことへのお詫びと支えていただいた感謝の言葉しかありません。ただひとつだけ言い忘れたことがありました。それは、最近学校に求められている「学生の質保証」という言葉に、私の教育観や人生観からは違和感があることです。学生は工業製品ではありません。工業製品は劣化しますが、卒業後の学生は成長します。

それでは皆さんお元気でお過ごしください。またどこかでお会いしましょう。



新入生歓迎会

学生主事補 小川 祐輔

4月8日(月)に、学友会執行部主催の新入生歓迎会が開催されました。この新入生歓迎会は、新入生に本校の部活動(同好会含む)について紹介し、入部のきっかけとしてもらうために、例年実施しているイベントです。入学直後でやや緊張した様子の新入生たちが、執行部の先輩の案内のもと会場に入っていく様子が印象的でした。

新入生歓迎会での部活動紹介は、ステージ発表とブース展示の二部構成になっています。前半のステージ発表では、各部がプレゼンテーションやパフォーマンスを行い、その部の特色を存分にアピールしました。新入生からは大きな拍手や笑い声が聞こえ、会場は大いに盛り上がっていました。後半のブース展示では、新入生が興味をもった部のブースを訪れ、先輩と交流していました。先輩たちは親切に対応し、新入生たちはリラックスして会話を楽しんでいました。

入学から数か月が経ち、多くの新入生が精力的に部活動に参加していますが、新入生歓迎会をきっかけに入部先を決めた学生も多いと思われます。部活動に参加することは、学生生活を充実させることに繋がりますので、新入生歓迎会の意義は大きいと感じます。このような有意義な活動が今後も続いていくことを願っています。



新入生研修

学生主事補 水越 彰仁

4月13日(土)に新1年生を対象に新入生研修を実施しました。今年は体育活動を陸上競技場で実施し、交流活動を各HR教室で行いました。

研修の目的は、充実した学校生活の実現に向けてクラス内での仲間作りのきっかけを提供することです。陸上競技場での体育活動では、「縄通し」、「ポールで球運び」、「ブルーシートリレー」など、今まで体験したことのないような競技を実施し、どうすれば効率よくできるかなどをクラス内で工夫することで仲を深めているようでした。午後は、各HR教室に集まり、自分の好きなものを書き込んだ「お気に入りマップ」を交換しながら会話することでお互いを知るきっかけづくりを行いました。

始業式から一週間足らずの期間での実施となり、学生はまだ高専生活に慣れない中での研修となりましたが、多くの学生が研修に満足していると事後アンケートで意見が寄せられました。この研修をきっかけとして、充実した学生生活を送ってくれることを願っています。



体育祭

学生主事補 小川 祐輔

5月21日(火)に体育祭を実施しました。昨年度は雨天のため中止となり、2年ぶりの実施となりました。今年度も前日の雨によりグラウンドの状況が心配されましたが、体育祭実行委員を中心とした学生たちが当日の朝にグラウンドを整備してくれたおかげで、無事開催することができました。

今年度の体育祭では、借り人競争、玉入れ、台風の日、綱引き、ドッジボール、三人四脚、学科対抗リレーの7つの競技が行われ、5学科が競い合いました。ドッジボールは例年にはない新しい試みでしたが、大きな盛り上がりを見せました。いずれの学科も健闘し、一進一退の攻防が続きましたが、最終的には学科対抗リレーを制した環境都市工学科が総合優勝を勝ち取りました。また、任意参加競技の団体対抗リレーも実施され、20を超える有志の団体が、その団体を象徴する衣装でトラックを駆け抜けました。

体育祭後に実施したアンケートには、「みんなと一緒に楽しめた」「クラス一丸となって戦えた」といった声が数多く寄せられました。今年度の体育祭が学生間の友好を深めるきっかけになったなら、これに勝る喜びはありません。晴天の中、充実した一日を過ごせました。参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。



STG講習会

学生主事補 水越 彰仁

5月26日(日)に、自動二輪車での通学を許可された学生を対象に木更津自動車学校にてSTG講習会を実施しました。本講習会は二輪車の安全運転を促進するために実施し、木更津自動車学校の指導員の皆様から指導を受けました。

はじめに、交差点走行時の死角特性についての説明があり、指導員の方の実演を交えて危険予知等についてのケーススタディ講習がありました。次に、学科と実技の2班に分かれ、実技では日常点検、慣熟走行、課題走行を実施し、座学では事故防止に関する学科と確認テストが実施されました。最後に班を交替して同様の講習が実施され、学生は真剣にかつ楽しんで取り組んでいる様子が伺えました。

木更津高専では本講習会をはじめとして学生の交通安全意識を高める活動を今後も積極的に進めていきます。今回ご協力いただいた木更津自動車学校の指導員の皆様に深く感謝を申し上げます。



令和6年度 高等専門学校体育大会の結果

関東信越地区高等専門学校体育大会(開催期間:令和6年6月29日～7月21日)

種目		順位	選手氏名	
陸上	男子総合	2位		
	男子100m	1位	羽生虎太郎 (D5)	
	男子200m	1位	羽生虎太郎 (D5)	
		2位	秋井 一希 (D5)	
		1位	福田 晴仁 (C3)	
	男子400m	3位	秋井 一希 (D5)	
		2位	田村 陽 (M1)	
	男子110mハードル	2位	福田 晴仁 (C3)	
	男子400mハードル	3位	青柳虎汰朗 (D2)	羽生虎太郎 (D5)
	男子4×100mリレー	3位	福田 晴仁 (C3)	秋井 一希 (D5)
			羽生虎太郎 (D5)	秋井 一希 (D5)
	男子4×400mリレー	3位	高木 聡 (C5)	福田 晴仁 (C3)
			青柳虎汰朗 (D2)	
	男子走幅跳	3位	加治 直樹 (D5)	
	男子やり投	1位	安藤 俊介 (C3)	
		3位	田中 勇翔 (E3)	
	男子砲丸投	3位		
	女子総合	3位		
	女子100m	2位	清水 咲希 (D3)	
	女子200m	2位	清水 咲希 (D3)	
	女子800m	2位	松本 理子 (C1)	
	女子3000m	1位	佐久間萩織 (C3)	
	女子4×100mリレー	3位	渡来 桃 (E4)	清水 咲希 (D3)
			松本 理子 (C1)	稲毛 遥 (M3)
	女子砲丸投	1位	渡来 桃 (E4)	
	女子円盤投	2位	渡来 桃 (E4)	
	女子やり投	2位	渡来 桃 (E4)	
水泳	男子 200m個人メドレー	3位	堀江 空希 (D5)	
野球	-	1位		
バレーボール	女子	1位		
サッカー	-	1位		
テニス	女子シングルス	3位	田中 陽 (D1)	
	女子ダブルス	1位	松本 咲空 (E2)	田中 陽 (D1)
		3位	吉野 雅 (E3)	菊池 みのり (D2)
ソフトテニス	男子団体	3位		
	男子個人	2位	野口 舜太 (E5)	齋藤 結也 (C1)
		3位	大橋 翔 (M5)	工藤 拓海 (C5)
		3位	小豆澤莉歩 (C3)	江口 里英 (M2)
	女子個人	3位		
卓球	女子団体	1位		
	女子ダブルス	1位	武井 心 (C5)	菊地 麻耶 (D3)
	女子シングルス	2位	菊地 麻耶 (D3)	
		3位	武井 心 (C5)	
バドミントン	男子団体	3位		
	男子ダブルス	2位	中村 光希 (M5)	山田 晴大 (C3)
	男子シングルス	2位	中村 光希 (M5)	
		3位	戸田大地郎ズッディ (J4)	
	女子ダブルス	3位	菖蒲 穂花 (C4)	安西 陽菜 (M3)
	女子シングルス	3位	安西 陽菜 (M3)	
柔道	男子個人	2位	神保 天馬 (D3)	
	女子個人	1位	中 日里 (C4)	
剣道	男子団体	3位		
	女子団体	1位		
	女子個人	1位	牧 聖奈 (C3)	

※個人の結果は3位まで、または全国大会出場選手のみ掲載。団体の結果は、全国大会出場のみ掲載。

第59回 全国高専体育大会で活躍した学生たち

全国高等専門学校体育大会(開催期間:令和6年8月21日～9月18日)

種目		順位	選手氏名	
陸上	男子やり投	2位	加治 直樹 (D5)	
	女子砲丸投	2位	渡来 桃 (E4)	
卓球	女子団体	3位		
柔道	女子個人	3位	中 日里 (C4)	

卓球部

環境都市工学科 5年 武井 心

私たちは、8月30日～9月1日に北海道釧路市で行われた、全国高専体育大会卓球の部の女子団体、女子ダブルス(1組)、女子シングルス(1名)の3種目に出場しました。

女子団体は、部員だけでは出場人数に満たず、助っ人として2人の力を借りて出場しました。予選リーグでは、初戦は快勝したものの、2試合目で接戦に敗れ、1勝1敗となりました。しかし、運良くほかの高専の試合の結果により、予選を1位通過し、優勝決定リーグに進出することができました。優勝決定リーグでは、全国常連校に歯が立たず、実力差を改めて実感する試合となりました。結果としては、3位となり、木更津高専卓球部の女子としては初めてのメダルを獲得することができました。

これまで、全国大会でメダルを獲得することを目標に約4年半練習に励んできた中で、5年目最後の高専大会でメダルを獲得することができ、とても嬉しく思います。このような結果を残すことができたのは、日頃支えてくれている家族、先生方、コーチ、そして助っ人2人と部員のみんなのおかげだと思います。本当にありがとうございます。卓球部としては、来年も全国大会に出場し、さらに良い結果を残すことを目標に練習に励んでいきますので、これからも応援よろしくお願いします。



新入留学生紹介

XAYBEE, CHANVANG

私はサイビー・チャンワンです。普通はチャンワンと呼ばれます。ラオスから来ました。現在は留学生で、木更津高専の電気電子工学科3年生です。誕生日は2000年11月23日です。趣味は音楽を聴くこと、映画を見ることです。

でも、私はモン族です。ラオス語はよく分かります。タイ語は分かりますが、話せないで、ラオス語が分かれば、タイの映画を見たり、音楽を聴いたりしてタイ語を学ぶことができます。英語は苦手です。私は学校でラオス語を利用するとき、家でモン語を利用することになります。

私はまだ高校生のとき、日本に留学するという目標を持っていました。それで、高校学校を卒業してから、ラオス国立大学で日本語を勉強していました。1年近く勉強していた後、コロナがあるので、長く学校を休みました。そして、家族は経済的におおきな余裕はありませんから、それで、私はラオス国立大学で日本語の勉強をして続けるのはやめて、国費留学生試験の準備をすることにしました。それから、数学と物理学を勉強するようになりました。しかし、知識が足りなかったで、試験には3回もおちてしまいました。たくさんの人に「ラオスで勉強する場所を見つけなさい」と言われましたが、諦めずに4回目の試験を受けました。今回は成功しました。



THITHAT SANGSUREWATCHARA

こんにちは、僕は3年生の電子制御工学科のエーテンです。今年は17歳です。タイから来ました。趣味はゲームをすることで、YouTubeを見ることです。好きなスポーツはバスケットボールです。得意な科目は数学です。木更津高専に来る前にタイ高専で2年間勉強しました。日本に色々な経験を積めると思うから、日本に来ました。僕はタイにいた時、日本語であまり喋らないから、日本語でしゃべることはまだ大変です。ですから、僕にゆっくり話してくれて嬉しいです。僕はもう3ヶ月〜4ヶ月に木更津高専にいた。ここには皆が優しく、色々なことが手伝ってくれました。これから、3年間よろしくお願いします。



THAZIN YI

3年生情報工学科のタジンです。ミャンマー出身で、去年の4月に日本に来ました。趣味は絵を描くことや料理です。日本に留学してから、日本のことだけでなく、さまざまな国の人々と出会い、異文化を体験する機会を得ました。この留学経験を生かして、将来は国際交流に貢献したいと思っています。高専を卒業したら、大学に進学するつもりで、日本で就職するまで頑張りたいです。



内地研究終了報告

情報工学科 准教授 吉澤 陽介

2023年5月1日から10ヶ月間、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科(KEIO MEDIA DESIGN: KMD)にて、内地研究に専念しました。

序盤は、KMDで開講されている講義を聴講し、KMDのデザインを理解するとともに、他大学とのデザイン教育・デザイン研究との違いについて考察しました。

研究については、南澤孝太教授が主宰する「身体性メディア」(Embodied Media Project)に参加して、同プロジェクトの川口碧先生と一緒に「共創書道」のトライアルを行いました。共創書道の字の如く「2人でひとつの書道作品を制作する」という体験について、「2名に装着したモーションキャプチャーを介したロボットアームによる筆の制御」、「熟練者の筆圧を取得してアクチュエーターを介した学習者への伝達」といった2つのアプローチを試みました。このプロジェクトを通じ、自身が気づけなかった新しいデザインの視点を持つことができました。

現在、木更津高専はKMDと包括協定を締結しております。今回の内地研究を起点として、KMDとの交流を促進したいと考えております。そして私自身は、日々広義となっているデザイン分野を把握した上で、デザイン学研究者として、デザイナーとして、デザインを必要とされる方がハッピーになるよう、一層精進して参ります。



お知らせ

教職員の異動

■新任	
(採用)4月1日	
田川 浩子(人文学系 講師)	
柳下 聡介(基礎学系 准教授)	
橋本 英子(総務課研究協力・地域連携係)	
(配置換)4月1日	
三橋 修(環境都市工学科 嘱託准教授)	←高知高専
(転入)4月1日	
先村 律雄(校長)	←群馬高専
満尾 俊一(事務部長)	←防衛省
齊藤 庄二(総務課長)	←千葉大学
石見 元太(総務課人事・労務係)	←千葉大学
■退職等	
(配置換)4月1日	
孤田智恵子(基礎学系 教授)	→久留米高専
薦 将哉(電子制御工学科 助教)	→長岡高専
(転出)4月1日	
市川 智一(総務課長)	→千葉大学
坂元 淳(総務課人事・労務係長)	→千葉大学
田中 江利(総務課経理係長)	→千葉大学
(退職)3月31日	
山崎 誠(校長)	
石出 忠輝(機械工学科 教授)	
上原 正啓(電気電子工学科 嘱託教授)	
鈴木 聡(電子制御工学科 嘱託教授)	
栗本育三郎(情報工学科 嘱託教授)	
芳川 直哉(総務課経理係)	
(退職)6月30日	
戸澤 庸子(総務課経理係)	
(退職)7月31日	
中山 由美(総務課施設係)	

行事予定

10/1(火)	後期授業開始
10/19(土)～20(日)	全国高専プログラミングコンテスト
10/26(土)～11/4(月・祝)	3～5年保護者個別懇談会
11/1(金)	学園祭に伴う休業日
11/2(土)～3(日)	学園祭
11/2(土)～3(日)	全国高専デザインコンペティション
11/9(土)	関東信越地区高専英語弁論大会
11/17(日)	アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト
11/25(月)～29(木)	後期中間試験
12/19(木)	マラソン大会
12/21(土)～1/5(日)	冬季休業
未定	専攻科特別研究発表会
1/17(金)	推薦入試に伴う休業日
1/19(日)	推薦入学者選抜
1/21(火)	推薦入試に伴う休業日
1/25(土)～26(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
1/31(金)～2/5(水)	学年末試験
2/7(金)	学力入試に伴う休業日
2/9(日)	学力入学者選抜
2/10(月)～12(水)	学力入試に伴う休業日
2/18(火)	終業式
2/19(水)～20(木)	卒業研究発表会
2/19(水)～21(金)	補講期間
3/3(月)～3/5(水)	3年生スキー合宿研修
2/22(土)～3/31(月)	学年末休業
3/19(水)	修了式・卒業式

名誉教授・叙勲

- 名誉教授(令和6年4月1日付)
 - 山崎 誠(前校長)
 - 石出 忠輝(機械工学科 嘱託教授)
- 叙位・叙勲
 - 平安 隆雄(人文学系 名誉教授)
 - 叙位:従四位・叙勲:瑞宝小綬章(令和6年3月19日付)

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

山田 勝兵(元校長)

平安 隆雄(人文学系 名誉教授)

ロボコン2024

競技課題:ロボたちの帰還

○関東甲信越地区大会
9月22日(日)実施済(本校が当番校として開催しました)

○全国大会

■開催日:11月17日(日) ■会場:両国国技館

保健室より



■正しい手洗いで感染症予防を継続しよう

石鹸をよく泡立てて、トイレの後・食事の前・調理の前後・外出から帰宅した時など、忘れずに行うようにしましょう。新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎などには引き続き注意が必要です。

■体調が悪い時には登校を控えよう

感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)にかかった、またはその疑いがあると診断された場合は、公欠(別途指定様式の提出が必要*学生便覧P.104参照)になります。必ず学校(木更津高専学生課0438-30-4038)に連絡してください。

学生相談室より



■充実した学生生活を送れるようにサポート

相談内容については、相談者の同意を得ずに他に伝えることはありません。

保護者の方の相談にも対応いたします。

学生相談室は「講義棟A 1階 保健室隣」にあります。

■カウンセラーへの相談

カウンセラーへの相談は予約制です。相談内容によっては、より適切な機関(専門医)への紹介も可能です。

予約は、保健室 ■電話:0438-30-4036

■メール:soudan@a.kisarazu.ac.jp

をお願いします。

対面が原則ですが、ご希望や状況に応じて、電話、Teamsビデオ通話、メールなどの対応も可能です。

■スクールソーシャルワーカーについて

経済的な問題やご家庭・ご家族のことなど、生活の中で心配や不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

予約は、保健室 ■電話:0438-30-4036

■メール:soudan@a.kisarazu.ac.jp

をお願いします。

<令和6年度勤務日(予定)>

10月24日、11月28日、1月23日、2月20日

■担当カウンセラー

開室時間

月曜日	坂本 容子 先生	12時～17時
火曜日	愛甲 修子 先生	10時～17時
水曜日(第1)	坂本 容子 先生	12時～17時
水曜日(第2～4)	愛甲 修子 先生	13時～17時
水曜日(月1回)	精神科医の 先生	17時～19時
木曜日	愛甲 修子 先生	12時～17時
金曜日	高井 清武 先生(R6より)	12時～17時

■スクールソーシャルワーカー

木曜日(月1回)	柴田 裕美 先生	13時～17時
----------	----------	---------

■その他相談室スタッフ

月～金	加藤 達彦(学生相談室長)	随時
月～金	鈴木 道治(副学生相談室長)	随時
月～金	田村 真弓(看護師)	随時
月～金	森野 加奈(看護師)	随時
月～金	歸山 智治(機械工学科学生相談室委員)	随時
月～金	大野 貴信(電気電子工学科学生相談室委員)	随時
月～金	沢口 義人(電子制御工学科学生相談室委員)	随時
月～金	能城 沙織(情報工学科学生相談室委員)	随時
月～金	大久保 努(環境都市工学科学生相談室委員)	随時
月～金	白木 玲子(事務補佐員)	随時



独立行政法人国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

ホームページ <https://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第97号 令和6年9月発行

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

☎0438-30-4000